

2 一切智を求めて

2-3 熊楠の人文系研究

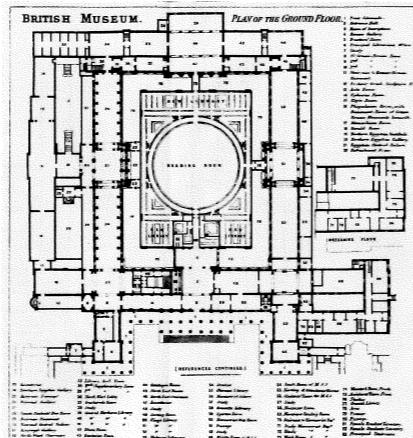
Humanities-related Fieldworks

熊楠は、隠花植物ばかりでなく、世界中の説話や民話、伝説などを集め続けました。この分野の研究は、当時、民俗学の一部として盛んに行われていたのです。実体のある隠花植物と文字だけの説話、全く違うように思える両者ですが、熊楠はどちらもひたすら集めます。隠花植物を図譜に記したのと同じように、書物の世界から集めたデータをノートに記していました。



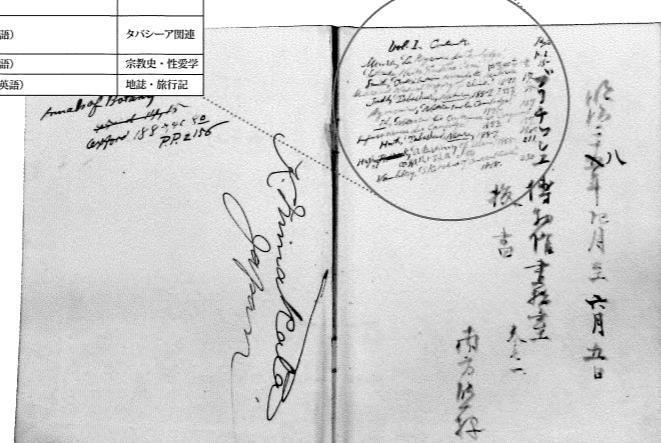
世界一の書物の森、大英博物館図書室での抜き書きが後の活躍の基盤となりました。

熊楠が本格的な文献研究に着手したのは、ロンドンへ来て約2年がたった1895年4月頃のこと。大英博物館図書室で古今東西の稀覯書から抜書をつくりいきました。



当時の大英博物館図書室の図面(1894年)

書名	著者名	訳題	内容
Moura, Jean. <i>Le royaume du Cambodge</i> , Paris, 1883	Moura, Jean	ムーラ「カンボジア王国」(仏語)	地誌・旅行記
Pagès, Léon. <i>Histoire de la religion Chrétienne au Japon</i> , "Lettre de Naito Findadono Cami", Paris, 1869	Pagès, Léon	パジェス「日本切支丹宗門史」「内藤飛卿守の手紙」(仏語)	宗教史
Smith, Frederick Porter. <i>Contributions towards the materia medica and natural history of China, Shanghai and London</i> , 1871	Smith, F. P.	スミス「中国の本草学と博物学に関する論考」(英語)	博物学
Brewster, David. "Notice respecting a singular optical property of tabasheer". <i>Edinburgh Journal of Science</i> , vol.7, 1819	Brewster, David	ブリュースター「タバシーア」(エディンバラ科学雑誌)(英語)	タバシーア関連
Waring, Edward John. <i>Pharmacopœia of India</i> , London, 1868	Waring, Edward John	ウォリング「インドの薬物」(英語)	タバシーア関連
Dyer, W.T. <i>Dictionary of Chemistry</i> , London, 1887	Dyer, W.T.	ダイヤー「化学事典」(天竹黄)(英語)	タバシーア関連
Ito Tokutaro. "Tabasheer", <i>Nature</i> , Mar.17, 1887, pp.462-3, London, 1887	Ito Tokutaro	伊藤篤太郎「タバシーア」「ネイチャー」(英語)	タバシーア関連
Judd, John W., "Relation of tabasheer to mineral substances", <i>Nature</i> , 1887.3.24, London	Judd, John W.	ジャッド「タバシーアと鉱物の関係」「ネイチャー」(英語)	タバシーア関連
Aymonier, Etienne. <i>Notice sur le Cambodge</i> , Paris, 1875	Aymonier, Etienne	エモニエ「カンボジア報告」(仏語)	地誌・旅行記
Aymonier, Etienne. "Notes sur les coutumes et croyances supersticieuses des Cambodgiens", <i>Cochinchine Française: Excursions et Reconnaissances</i> , no.16, Saigon, 1883	Aymonier, Etienne	エモニエ「カンボジアの習慣と迷信に関する覚書」「仏蘭コーチナ」(仏語)	地誌・旅行記
Huths, Ernst. "Tabasheer mentioned in older botanical works", <i>Nature</i> , vol.36, pp.29-30, London, 1887	Huths, Ernst	ハス「タバシーア」「ネイチャー」(英語)	タバシーア関連
Hughes, Thomas Patrick. <i>A dictionary of Islam, "Bestiary"</i> , London, 1885	Hughes, Thomas Patrick	ヒューズ「イスラム事典」「獣鏡」(英語)	宗教史・性愛学
Vámbéry Ármin. <i>Sketches of Central Asia</i> , London, 1868	Vámbéry Ármin	ヴァーンベリー「中央アジア点描」(英語)	地誌・旅行記



「ロンドン抜書」第1巻には自筆の目次が付いています。まず目につくのは「タバシーア」、これは竹の節に溜まる液体から作るインドの薬品のこと。その他の地誌・旅行記や宗教学の書籍も、ヨーロッパから見たアジアという視点のものばかりです。

Kumagusu collected documents on narratives, folk tales, and other oral traditions from all around the world. At that time, this area of research was at dawn as part of folklore studies. The only way for Kumagusu to gather records was to transcribe them by hands from the original documents into notebooks. In this way, Kumagusu wrote up more than 10 volumes of "Kayo Zuihitsu" (After-School Essays), 10 volumes of "Minakata Kumagusu's Series", 52 volumes of "London Extracts", 62 volumes of "Tanabe Extracts",



抜書に集めた膨大なデータは、雑誌や新聞へのユニークなタイトルの投稿というかたちで活用されています。投稿先の雑誌も多種多様です。

熊楠が
残した文字資料が
データ化されていく様子を
見てみましょう。

熊楠の人文系研究を解読する



南方邸での調査は、現在でも手作業が基本です。



熊楠が書き残した資料の内容を調べてカードを作っています。



デジタルスキャナーで資料を読み込んでいます。
スキャナした画像データとカードのデータを組み合わせて1件完成です。

人文系データの収集方法は、熊楠の時代には、書物から見出した記述をノートに書き写すという方法しかありませんでした。それらのノートは「課余隨筆」13冊、「南方熊楠叢書」10冊、「ロンドン抜書」52冊、「田辺抜書」61冊等として残されています。じつは現在でも、文字で書かれた資料を集め手順はさほど変わっていません。手で書き写す代わりにデジタルスキャナーでデータ化し、ノートの代わりにデータベースに蓄積していくわけですが、人間が読んで選ばなければならないという点では同じです。

besides many other notebooks. Today, data can be collected using digital scanners instead of being transcribed manually, and resulted digital documents are stored in databases instead of notebooks; however, the process of reading and selecting the relevant data by each researcher is essentially not changed.